

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

		施設所管課	都市計画部公園緑地課
施設名	都市公園(225公園)		
指定管理者	おおつ協会都市公園グループ		
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和9年3月31日		
指定管理料	年額 680,783,817円(令和6年度) (総額 3,382,792,171円)		
設置目的	市民の誰もが、安全・安心に利用できるとともに、いつ利用しても満足度が高い公園の運営管理を目指し、また、地域の特性や住民の意向に応じ、きめ細やかな配慮の行き届いた公園の管理運営を目的とする。		
業務内容	(1) 有料公園施設の使用許可又は不許可を行うこと。 (2) 公園施設を良好な状態に維持管理すること。 (3) 公園の適切な利用管理を行うこと。		

所管課 総合評価	I～IVによる総合評価	総合評価コメント
	B (良好)	維持管理については、優先順位をつけて計画的に実施するとともに、修繕が必要な公園灯についてはLED化を行うことで、環境配慮に取り組んでいた。また、人件費や物価等の価格が高騰する中、経費の削減や直営作業の増加等により管理事業における支出を前年度比97.6%に抑えていた。 自主事業については、多様なイベントの実施や積極的な広報活動の実施等により、収入が前年度比108.4%となった点は一定評価できる。次年度以降についても、日々の点検や計画的な維持管理により、誰もが安全・安心に利用できるよう環境づくりを行うとともに、魅力ある事業を展開することで、公園の魅力発信に取り組まれた。

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
I 実施体制	施設の設置目的の達成 □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B (良好)	公園・各施設ともに利用者ファーストの管理運営に努めた。3月にはなぎさ公園駐車場の料金改定、LAGO大津がオープンするなど公園の使われ方に変化が起きたが、事前周知、関係各所との協議、共有を行うなどした結果問題なく管理運営できた。	B (良好)	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った管理運営を行っていた。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B (良好)	事業計画書に沿って職員の資格や経験年数を踏まえた適材適所の人員配置を行った。	B (良好)	事業計画書どおりの人員配置であった。また、各施設の利用目的に沿って、有資格者の職員を適正に配置し、施設管理の質向上に努めていた。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	事業計画書に基づいて職員の研修や教育を行った。	B (良好)	事業計画に基づき、公園及び施設の管理運営に資する研修や接遇研修などを適切に実施していた。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B (良好)	関係法令や条例等を遵守し、適正適切な管理運営を行った。	B (良好)	関係法令等を遵守していた。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	個人情報・情報公開の取り扱いについてはプライバシーマークを取得しており、厳密に管理運営を行った。	B (良好)	個人情報の管理体制及び実施体制を定めるとともに、施設可能なキャビネット等に保管する等、適切に管理を行っていた。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	年間を通し公園noteにて適切に保管・共有できるよう行った。点検結果や修繕履歴についても公園noteやファイルにて保管を行った他、対応の遅れがないかなど社内でも共有を行った。	B (良好)	管理記録や作業内容等を適切に記録、保管するとともに、団体内で共有するシステムを活用し、管理運営に生かしていた。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	毎月月例協議を天津市と行い情報共有を図った。月報やその他報告書等についても適正に提出を行った。	B (良好)	日々の情報共有に加え、月に1度、定例会議を行い、市と指定管理者間で情報共有を行った。また、各種報告書等の提出についても適切に行っていた。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	事故、災害、2号体制含め緊急時の体制を確保した他、事故、災害等発生時の対応については全職員に共有し指導徹底を図った他、各施設においては訓練等を適切に行った。	B (良好)	事故・災害等発生時のフローを定めており、警報発令時についても、団体内及び市への情報共有し、適切に対応していた。また、各施設において、防災訓練を行い有事に備えていた。
	《I 総括》 業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B (良好)		B (良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

評価項目及び評価の視点		確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ 内容・水準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B (良好)	開館日や開館時間は順守できている。日常巡回や利用者要望等により、不良箇所や安全確保は必要な対策を講じた。	B (良好)	開館日、開館時間を遵守していた。また、利用者の要望や巡回時に発見した不具合について、必要に応じて、市と協議の上、適切に対応を行っていた。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	諸般の事情により、各施設、利用者数の微減はあったが、年間を通し許容範囲内で推移できた。	B (良好)	全体の施設利用件数は前年度比において96.3%と概ね水準どおりに推移していた。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B (良好)	窓口対応や利用許可については問題なく運営できている。設備、備品についても、可能な範囲内において良好な状態を保てるように努めた。	B (良好)	各施設、利用者の要望に応じて、柔軟に運営を行っていた。第2期において、一部施設への苦情はあったが、指摘以降、改善が見られ、その後の苦情はなかった。次年度以降においても各施設の職員への指導を徹底させたい。
	業務運営(全体) □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	事業計画書に則り事業を実施した。利用促進に向けてはSNS(Instagram)を駆使し情報発信を強化した他、利用者アンケートや直接現場でいただいた方の意見を取り入れるなど利用促進向上に努めた。	B (良好)	事業計画に基づき、事業運営を行っていた。各施設の利用促進に向け、各種SNSを積極的に活用し、情報の発信に取り組んでいた。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B (良好)	概ね事業計画書に則り実施した。SNSを駆使した情報発信やネット予約申込みを行うなど利用者満足度を高める工夫をしたことにより、利用者から良い声をいただけた。	B (良好)	概ね事業計画どおり実施していた。過去の実績や今期の利用状況等を踏まえ、利用者のニーズに応じた事業や情報発信を実施することで利用者の満足度向上に努めていた。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	設備等の保守点検、日常清掃、警備等については、年間で行い必要に応じて修繕等を行った他、遊具については修繕計画書に基づき概ね修繕を行った。備品については台帳に基づき適切に管理を行った。植栽管理についても仕様書に則り適切な管理を行った。	B (良好)	施設、設備の保守点検や遊具の修繕、清掃等については、計画的に実施していた。また、樹木管理については、各公園の樹木の生育状況や緊急度等に応じて、順次対応していた。樹木の根上りがりによる園路や緑石等の損傷が見られる公園もあるため、市と協議の上、対応を検討させたい。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	ホームページとSNS(Instagram)での情報発信に努め、適宜更新を行った。また本年度は取りやすい、見やすいパンフレットにリニューアルし好評を得た。	B (良好)	適宜HP及び各SNSを更新していた。また、各施設に設置しているパンフレットの更新を行い、利用者へ最新の情報発信に取り組んでいた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	各施設、節電、節水に積極的に取り組んだ。また、LEDへの変更を積極的に行うなど環境配慮を行った。	B (良好)	各施設、不要な電気を消灯する等、可能な範囲で節電・節水に取り組んでいた。また、省エネルギー化の観点から随時LEDに更新していた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	各施設、車椅子や車椅子の誘導等、柔軟に対応している他、不特定多数の利用者向け、老若男女誰でも分かる看板のデザインにするなどユニバーサルデザインに配慮した管理運営を行った。	B (良好)	各施設において、利用者の特性に応じ柔軟に対応するよう職員間で周知し、窓口対応を行うことで合理的配慮の推進に努めていた。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	公園noteにて常に情報共有を行えるシステムを構築している。要望等に関しては、できる限り対応できるよう努めた。	B (良好)	意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立し、職員間で共有していた。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B (良好)	イベント開催時に手軽に回答していたらWEBアンケートを実施するなど最新のニーズ調査を行った。その結果を管理運営や新しい自主事業運営に反映できるように努めた。	B (良好)	イベント時にWEBアンケートを実施するとともに、アンケート結果から利用者のニーズを管理運営や自主事業の内容に反映できるよう努めていた。
Ⅱ総括 業務の内容・水準に関する評価【標準11項目／当施設11項目】			B(良好)		B(良好)	
Ⅲ 収支等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査(金庫等)	B (良好)	評価項目に沿って業務を遂行した。経理業務については必ずダブルチェックを行い、適正適切に処理した。	B (良好)	適正な出納処理を行うために売上専用の口座を設置し、また、経理処理を複数名で行うなどチェック体制を整えていた。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入－支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	前年同期と比較して管理事業(指定管理料除く)及び自主事業の総収入は7%減、総支出は3%減であった。	B (良好)	管理事業収入の前年比においては、98.2%と概ね前年どおりに推移していた。また、自主事業収入においては108.4%と増加しており、概ね適正な水準であるといえる。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B (良好)	簡易な修繕等はなるべく直営作業で対応を行い経費節減に努めた。	B (良好)	簡易な修繕等については、直営作業にて対応することで、経費の節減に取り組んでいた。
	Ⅲ総括 経費の収支等に関する評価【標準3項目／当施設3項目】		B(良好)		B(良好)	
Ⅳ その他 (独自)	その他 □ 努力事項として掲げた「大津市総合計画の五つの基本方針」の取り組みを推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B (良好)	大津市総合計画の五つの基本方針に則り安心安全を念頭に管理運営に努めた。親子で楽しめるイベントの開催や自然を学ぶ体験、健康に寄与した体操教室やトレーニングルームの運営、公園のにぎわいを創出するBASE事業、そして安心安全に過ごせる公園づくりを行い利用促進を図った。	B (良好)	年間を通して、親子や高齢者など幅広い世代が楽しめるイベントや教室を随時開催するなど、施設利用即効に努めている。また、なぎさ公園では、「Sunshine X Base 事業」を通じて、魅力発信や公園利用促進に取り組んでいた。
	Ⅳ総括 その他に関する評価【当施設1項目】		B(良好)		B(良好)	

指定管理導入施設実績評価シート（令和6年度）

主な成果 (全体)	使用料(利用料)	目標	191,997,000 円	⇒	実績	218,407,464 円	
	稼働率	目標	55 %	⇒	実績	54.5 %	※各施設での目標設定数値が異なるため北中部のみ
	利用者数	目標	620,000 人	⇒	実績	566,807 人	※各施設での目標設定数値が異なるため北中部のみ
	【指定管理者コメント】						
	光熱費、物価上昇、人件費等の高騰により管理費が増加したが、節水や節電、公園灯のLED化積極的に行い経費削減に繋げた。 また近年多種多様な公園の使い方がされ利用者も増加傾向にあるため、様々な取組みを行い大津の公園の魅力発信を行ったことで、一層多くの方に公園を知っていただけた他、県外から事業に参加していただくことも多くなった。						

【施設所管課コメント】							
施設利用料収入において、計画比+26,410千円を達成している。また、人件費や物価上昇に伴う管理費の増加はあったが、前年度に引き続き、直営作業による対応件数の増加や光熱水費の節減等の取り組みを実施したことで支出を抑え、管理事業及び自主事業の総収支が前年度比+7,493千円(143.7%)、計画比6,348千円(134.7%)を達成したことは一定評価できる。 次年度以降については、稼働率の低い施設を中心に活用方法の見直しなど、利用促進に向け取り組まれない。							

自主事業 実施による 成果	＜主な自主事業の実施状況＞				
	事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況 (実施・追加・未実施)	特記事項(「未実施」の場合はその理由)
	おおつ花を活かしたまちづくり事業	指定自主事業	市民と協働で花植えをして、緑化意識の啓発を行う	実施	
	Sunshine×BASE事業	自主事業	市民の憩いの場の提供 (無料Wi-Fi、遊び用具無料貸し出し用)	実施	
	トレーニングルーム	自主事業	市民の健康に寄与したトレーニングルームの運営	実施	
	各種スポーツ教室	自主事業	スポーツ人口に寄与することを目的とした 様々なスポーツ教室の開催	実施	
	自然観察会	自主事業	瀬田公園にてサギソウや草花、野鳥等の観察会	実施	
	【指定管理者コメント】				
	事業計画書記載の「大津市総合計画の第2期実行計画で位置づけられている5つのリーディングプロジェクト」や「第4次大津市緑の基本計画」に沿い自主事業を行った。当グループの核となる花や緑に関する事業については、「おおつ花を活かしたまちづくり事業」、新たな取組みとして「緑に関するワークショップ」を市内公園で開催するなど市民の緑化意識向上を図った。子育てに関する事業については、プレイパークやスポーツ教室などを他企業と協力・連携して行うなど人気を誇った他、市民の健康に寄与する取組みとしてトレーニングジム運営事業を行った。				
	【施設所管課コメント】				
	指定自主事業である「おおつ花を活かしたまちづくり事業」については、住民と協働で花を植えることで色彩豊かな公園づくりに取り組んでいた。「緑に関するワークショップ」や「伊香立フラワーフェスタ」を開催する等、新たな事業を実施することで市民の緑化意識向上に努めていた。また、地域団体と連携したイベントや「夢の架け橋プロジェクト」などの大きなイベントを開催することで、地域に密着した公園の管理運営及び施設の利用促進に取り組んでいた。 なぎさ公園での「Sunshine×BASE」事業については、年間を通じて、様々なイベントを開催することにより、賑わいの創出に取り組んでいた。				

課題及び 課題解決 の結果	【指定管理者コメント】
	今年度については最低賃金上がるなどさらなる人件費、物価高騰、光熱水費の上昇などが最大の課題となった。指定管理期間中の管理料上昇分について今後課題となってくる。現状は節電や節水、入札、直営作業での対応を行い少しでも経費削減できるよう取り組んでいる。その他遊具の耐用年数が超過している物が多くある。現状は、定期点検及び部材交換等にて対応している。

【施設所管課コメント】	
物価上昇や人件費の高騰などの影響があるものの、前年度に引き続き、直営による作業を増やすことで経費の節減に取り組んでいた。 各施設や遊具においては、経年劣化等により更新が必要な施設が散見されることから、指定管理者において対応が困難な案件については、随時市と協議されたい。	

特記事項等	
-------	--

